

一般職業紹介状況(平成24年1月分)

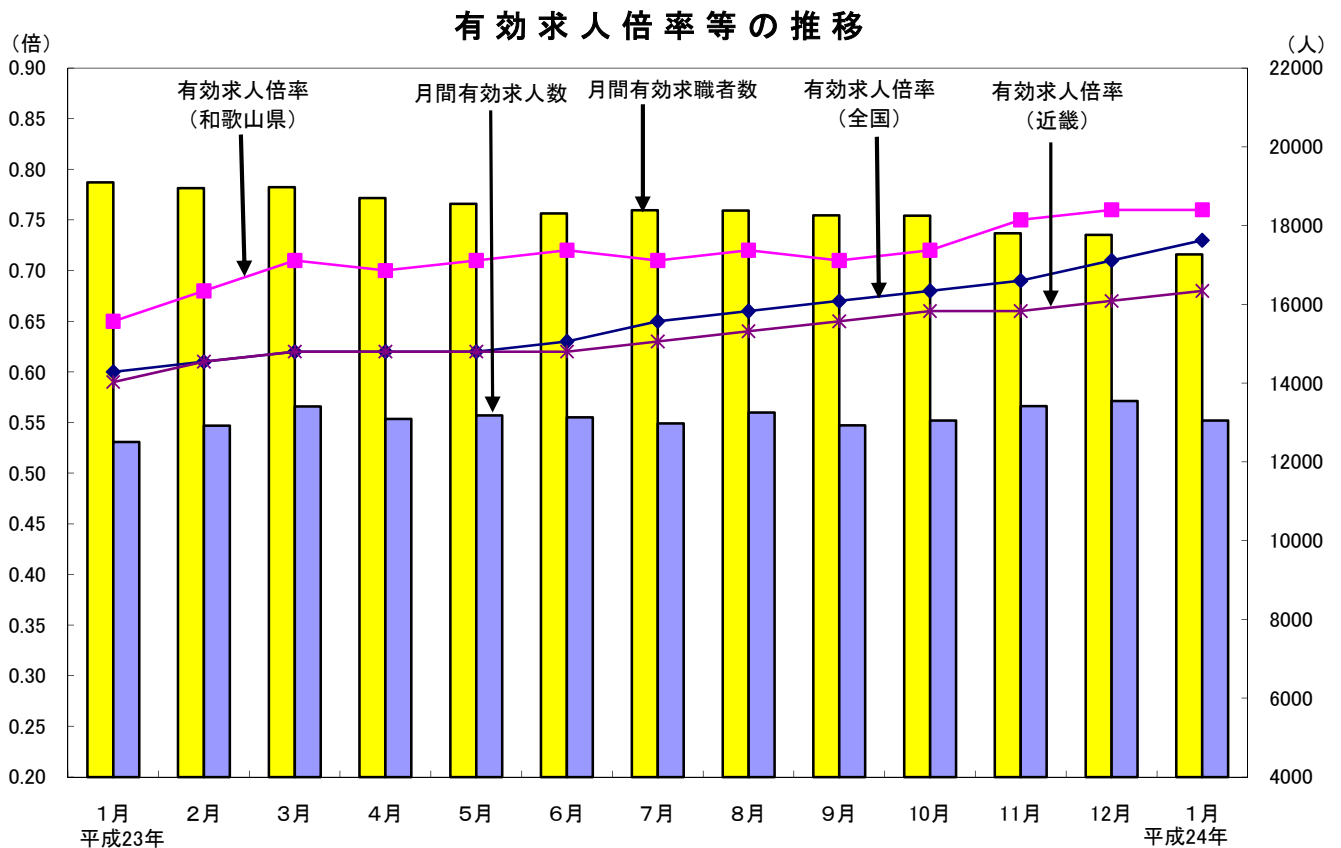
有効求人倍率(季節調整値)は、前月と同水準の0.76倍となった。

全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.73倍で、前月より0.02ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.68倍で、前月より0.01ポイント上昇。

新規求人倍率(季節調整値)は1.29倍で、前月より0.17ポイント上昇。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比0.4%増。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比13.3%減。



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.17ポイント上昇の1.29倍で、2か月ぶりに前月を上回った。

有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍となり、前月と同水準となった。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.06ポイント上昇の0.44倍で、19か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

- (1) 新規求人数(原数値)は5,312人で、前年同月比0.4%増(2か月ぶり増)となった。
有効求人数(原数値)は12,774人で、前年同月比4.8%増(21か月連続増)となった。
- (2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、
「教育, 学習支援業」(103人増)、「建設業」(97人増)、「生活関連サービス業, 娯楽業」(71人増)、「運輸業, 郵便業」(56人増)、「宿泊業, 飲食サービス業」(31人増)などで増加し、「医療, 福祉」(159人減)、「製造業」(84人減)、「卸売業, 小売業」(32人減)、「公務・その他」(31人減)などは減少した。
- (3) 一般、パート別で新規求人の状況を見ると、一般求人数は2,989人で前年同月比9.0%減、パート求人数は2,323人で前年同月比15.7%増となった。

3 求職者の動き

- (1) 新規求職者数(原数値)は4,439人で、前年同月比13.3%減(5か月連続減)となった。
有効求職者数(原数値)は15,878人で、前年同月比8.9%減(10か月連続減)となった。
- (2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は908人で前年同月比13.9%減(5か月連続減)、離職者は2,752人で同11.7%減(12か月連続減)となり、離職者のうち事業主都合離職は640人で同13.5%減(5か月連続減)、自己都合離職は1,910人で同10.3%減(10か月連続減)、また、無業者は731人で同18.3%減(2か月連続減)となった。
- (3) 雇用保険の受給者実人員は4,291人で、前年同月比3.4%減(2か月ぶり減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は1,394人で、前年同月比2.7%減(2か月連続減)となった。

5 まとめ

求職者数は新規、有効とも前年に比べ連続して減少している。また、求人の動向をみると、有効求人数は21か月連続増加、新規求人数は2か月ぶり増加と、明るい要素がみられることから、雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きは続いている。